



**USB-MIDI INTERFACE**

**UX256**

**取扱説明書**

# 安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

## 記号表示について

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

\* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

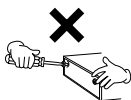
## 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおい煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。  
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは、必ず指定のもの(PA-1D、またはPA-3B)を使用する。  
(異なった電源アダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。)



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。

## 注意

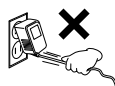
この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



❌ タコ足配線をしない。  
音質が劣化したり、コンセント  
内部が異常発熱して発火し  
たりすることがあります。



❗ 使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ず  
コンセントから電源プラグを抜く。  
感電、ショート、発火などの原因になります。

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源  
を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったり  
する前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にす  
る。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボ  
リュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボ  
リュームを上げていき適切な音量にする。  
感電または機器の損傷のおそれがあります。



❌ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストー  
ブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温  
度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いと  
ころで使用しない。  
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障した  
りする原因になります。

❌ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の  
近くで使用しない。  
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジ  
オなどに雑音が生じる場合があります。



❌ 不安定な場所に置かない。  
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをし  
たりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコー  
ドなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。  
コードをいためたり、お客様が転倒したりするお  
それがあります。

❌ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、  
洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。ま  
た、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム  
製品などを置かない。  
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因にな  
ります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてくだ  
さい。

❌ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。  
また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理  
な力を加えない。  
本体が破損したり、お客様がけがをしったりする原因  
になります。

❌ 本体の放熱ファンや放熱用スリットに本などを置  
いて、ふさがない。  
換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、火  
災が発生するおそれがあります。

❌ 大きな音量で長時間ヘッドフォン  
を使用しない。  
聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証  
はいたしかねます。また、データが破損したり  
失われたりした場合の保証はいたしかねますの  
で、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



### 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

音のエチケット  
これは日本電子工業会が「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

# ごあいさつ

このたびは、ヤマハUSB-MIDIインターフェースUX256をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

UX256は、USBによる高速データ転送と、最大256チャンネル同時演奏を可能にしたMIDIインターフェースです。USB端子装備のコンピュータと接続して、パワフルなコンピュータミュージックをお楽しみください。

UX256の優れた機能を使いこなしていただくために、この取扱説明書をご活用いただきますようお願い申し上げます。また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管されますよう重ねてお願い申し上げます。

## 目次

UX256の特徴 .....	5
USBに関するご注意 .....	6
ゴム足の取り外しについて .....	6
パッケージの内容 .....	7
付属ソフトについて .....	7
動作環境 .....	8
仕様 .....	8
各部の名称と機能 .....	9
接続について .....	10
ドライバのインストール .....	13
Windows98の場合 .....	14
Macintoshの場合 .....	18
ドライバの設定変更( MIDIパッチ画面 ).....	24
故障かな?と思ったら( Q&A ).....	30
ユーザーサポートのご案内 .....	32
保証とアフターサービス .....	34

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

- ・「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会( AMEI )の登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

# UX256の特徴

## 256チャンネル同時演奏

6系統のMIDI IN/OUT端子と2系統のTO TG端子(コンピュータのシリアルポートに相当)を同時に使用することができます。これにより、MIDI OUTが16ポート(256チャンネル)、MIDI INが8ポート(128チャンネル)のパワフルな音楽制作環境をサポートします。

## ケーブルをつなぐだけの簡単接続

USBで接続するので、コンピュータの電源を入れたまま、ケーブルの抜き差しができます。また、ドライバなどの難しい設定も必要ありません。

## USBによる高速データ転送

USBで接続するので、マルチポートの同時演奏でも優れた応答性が得られます。

## Windows98とMacintoshに対応

Windows98用ドライバとMacintosh用ドライバを用意しました。これにより、Windows98およびMacintosh(USB対応のiMacやG3)の両方に対応しています。

## 最大32台まで接続可能

USBハブを使うと、UX256を最大32台まで接続することができます。これにより、MIDI OUTを最大512ポート、MIDI INを最大256ポートまでサポートすることができます。

**(NOTE)** ただし、動作環境によって異なります。

## 安定動作

電源は付属の電源アダプターを使って供給するので、電源不足によって動作が不安定になることはありません。

### USB

USBとは、Universal Serial Bus(ユニバーサルシリアルバス)の略で、コンピュータと周辺機器を接続するためのシリアルインターフェースです。従来のシリアルポートとの接続時よりも、はるかに高速なデータ転送(12Mbps)が可能になります。また、コンピュータの電源を入れたまま周辺機器との接続ができます。

## USBに関するご注意

以下の状態でUX256の電源オン/オフ、またはUSBケーブルの抜き差しをすると、コンピュータがハングアップしたり、UX256の機能が停止したりする恐れがあります。

- ・ デバイス認識中またはドライバロード中
- ・ OS起動途中または終了途中
- ・ サスペンド(スリープ)中
- ・ MIDIアプリケーションが起動している状態

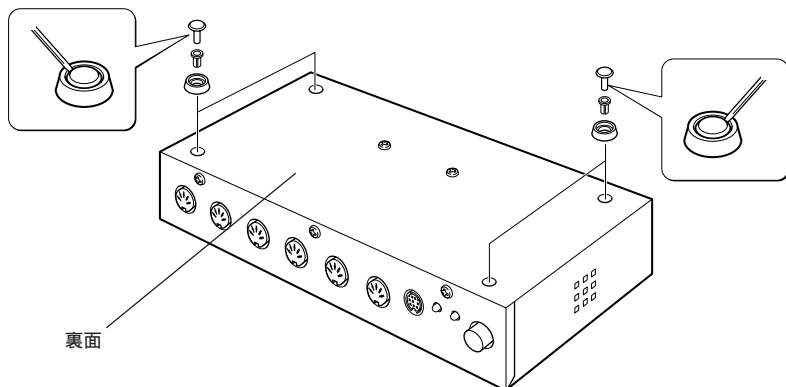
また、以下の行為をすると、同様にコンピュータがハングアップしたり、UX256の機能が停止したりする恐れがあります。

- ・ 頻繁な電源のオン/オフやケーブルの抜き差し
- ・ MIDIデータ転送中の省電力(スリープ)モードへの移行、レジューム
- ・ UX256が電源オンの状態でのケーブルの抜き差し
- ・ 大量にデータが流れている状態でのUX256の電源オン/オフ、コンピュータの起動、またはドライバのインストール

## ゴム足の取り外しについて

ヤマハ製品対応の別売のラックマウントアダプターを使って、ラックに取り付けて使用する場合は、本体裏側に付いているゴム足を取り外すことができます。

図のように、ゴム足とピンの間に安全ピンなどを差し込んで、ピンを押し上げて取り外してください。



# パッケージの内容

UX256のパッケージの中には、次のものが入っています。箱を開けたらまず入っているものを確認してください。

- ・ USB-MIDIインターフェース( UX256本体 )
- ・ 電源アダプター( PA-1D )
- ・ CD-ROM( Windows98/MacintoshハイブリッドCD )
- ・ USBケーブル( 約2m )
- ・ 取扱説明書( 本書 )
- ・ 愛用者カード

## 付属ソフトについて

同梱のCD-ROMには以下の付属ソフト( ドライバ )が入っています。

### 【Windows98の場合】

- ・ USB-MIDIドライバ( YAMAHA USB-MIDI Driver )  
UX256を動作させるために必要なドライバです。  
インストール方法について詳細は、P.14をご参照ください。

### 【Macintoshの場合】

- ・ OMS  
Opcode社より提供されているMacintosh用MIDIドライバです。  
インストールおよび使用方法の詳細については、P.18および付属のOMSマニュアル「OMS2.3J\_Manual.pdf」をご参照ください。
- ・ USB-MIDIドライバ( YAMAHA USB-MIDI Driver )  
UX256を動作させるために必要なドライバです。  
必ずOMSをインストール後にインストールしてください。インストール方法について詳細は、P.18をご参照ください。

# 動作環境

## 【Windows 98の場合】

対応OS	Windows 98 (NOTE) Windows 95は対応していません。
対応コンピュータ	NEC PC-98シリーズ/IBM-ATならびに互換機(USB対応)
CPU	Pentium/166MHz以上
メモリ	32MB以上
ハードディスク	1MB以上の空き容量

## 【Macintoshの場合】

対応OS	MacOS 8.5以上
対応コンピュータ	iMac、Power Macintosh G3(USB対応) (NOTE) ただし、一部のiMacについては、アップルコンピュータ社が提供する「iMacアップデート1.1」をインストールする必要があります。このプログラムでは、USBソフトウェアの改良が行われています。詳細については、アップルコンピュータ社のホームページなどをご覧ください。
メモリ	64MB以上 (NOTE) ただし、仮想メモリは「切」にしてください。
ハードディスク	1MB以上の空き容量
その他	OMS Version 2.3.3以上(同梱CD-ROMに付属)

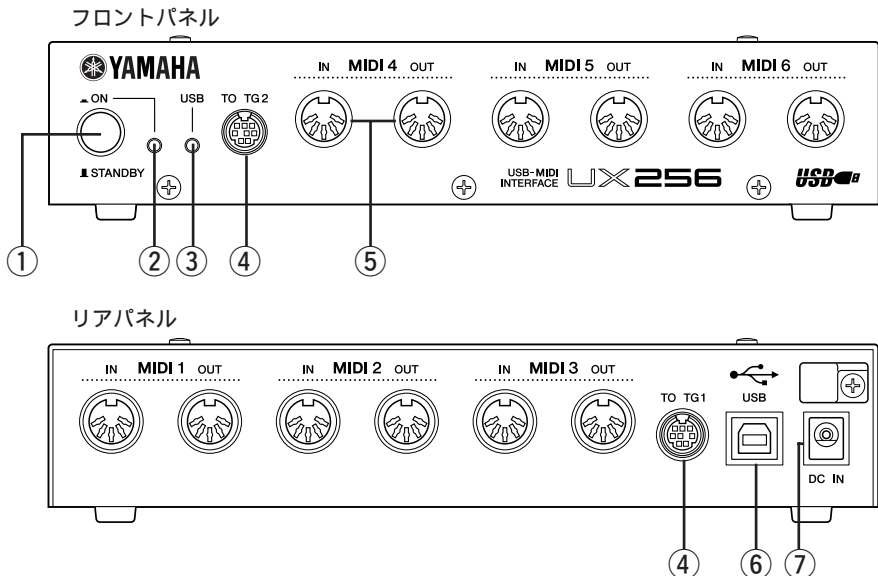
# 仕様

接続端子	MIDI IN端子(1~6)、MIDI OUT端子(1~6) TO TG端子(1、2)、USB端子、DC IN端子
電源	電源アダプター( PA-1D ): 定格電流 300mA、定格電圧 12V (NOTE) 同梱のPA-1Dを紛失された場合は、別売のPA-3Bもご使用になれます。
外形寸法	220(W)×110(D)×45(H)[mm]
重量	650g
別売品	シリアルケーブル YAMAHA CCJ-MAC

仕様および外観は改良のため予告無く変更する場合があります。



# 各部の名称と機能



① ON/STANDBY(オン/スタンバイ)ボタン  
電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り替えます。  
ボタンを奥に押し込むごとに電源のオン/オフ(スタンバイ)が切り替わります。

❗ オフ(スタンバイ)の状態でも微電流が流れています。UX256を長時間使用しないときは必ず電源アダプターをコンセントから抜いてください。

② POWER(パワー)LED  
UX256に電源が供給されると点灯します。

③ USB(ユーエスビー)LED  
コンピュータに接続して動作可能な状態になると点灯します。また、MIDI信号を送受信すると点滅します。

④ TO TG(トゥーティージー)端子1、2  
UX256とMIDI機器のTO HOST端子を接続する端子です。接続には別売のシリアルケーブル YAMAHA CCJ-MAC(市販品の場合は、システムペリフェラルケーブル 8ピン)をご使用ください。

(NOTE) このとき、MIDI機器のHOST SELECTスイッチは、お使いのコンピュータにかかわらず、「PC-1」に設定します。

⑤ MID(ミディ)端子1~6  
MIDIケーブルでMIDI機器と接続する端子です。  
MIDI IN(ミディイン)  
MIDI機器からの信号を受信します。  
MIDI OUT(ミディアウト)  
MIDI機器へ信号を送信します。

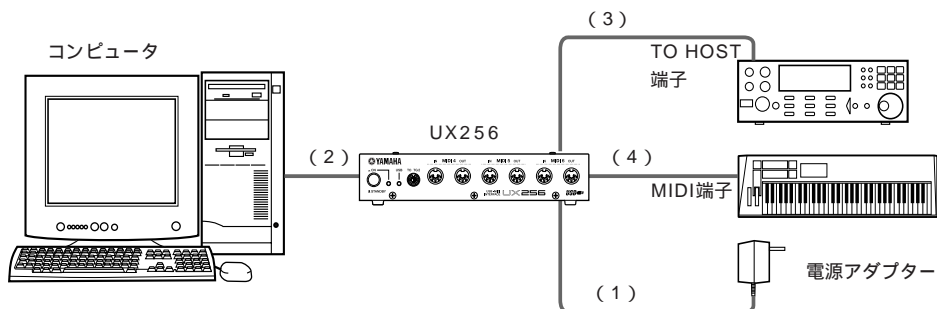
⑥ USB(ユーエスビー)端子  
USBケーブルでコンピュータやUSBハブと接続する端子です。

⑦ DC IN(ディーシーイン)端子  
付属の電源アダプターPA-1Dを接続する端子です。

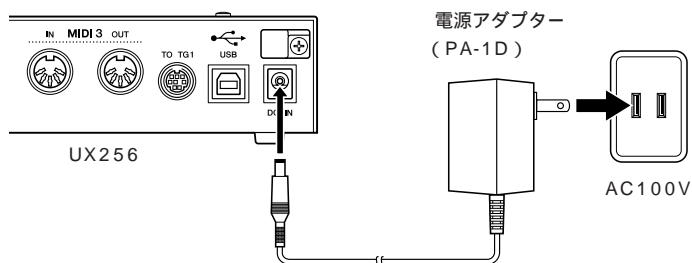
❗ 電源アダプターを接続する場合は必ず本体の電源がオフ(スタンバイ)になっていることを確認し、電源アダプターをDC IN端子につないでから電源コンセントに接続してください。

# 接続について

ここでは、UX256を使って、音源やキーボードなどのMIDI機器とコンピュータを接続する方法を説明します。



## (1) 電源アダプターの接続



1. UX256の電源をオフ(スタンバイ)にします。
2. 同梱の電源アダプター( PA-1D )のプラグを本体リアパネルのDC INに接続します。
3. 電源アダプターをコンセント( AC 100V )に接続します。

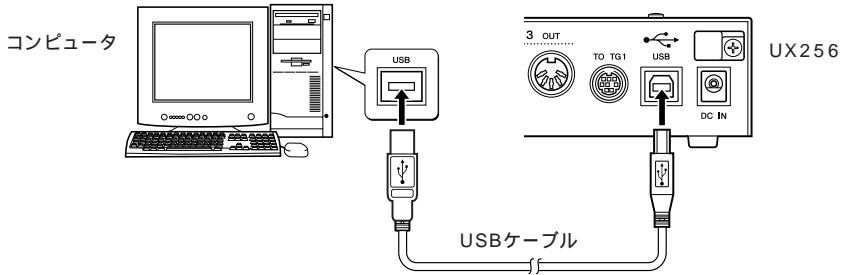
**!** 電源アダプターは必ず付属のPA-1D 別売の場合はPA-3B )をお使いください。電流、電圧や極性の違う電源アダプターを使用すると故障の原因となります。また、長時間ご使用にならない場合は必ずコンセントから外してください。

**(NOTE)** 電源の投入は、コンピュータとUX256が正しく接続されている状態で行ってください。

## (2) コンピュータとの接続

コンピュータのUSB端子とUX256のUSB端子をUSBケーブルで接続します。このとき、コンピュータの電源を切っておく必要はありません。

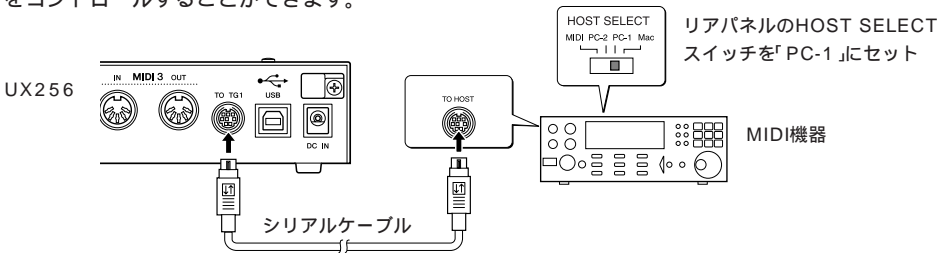
(NOTE) ただし、UX256の電源は必ず切っておいてください。



## (3) TO TG端子とMIDI機器との接続

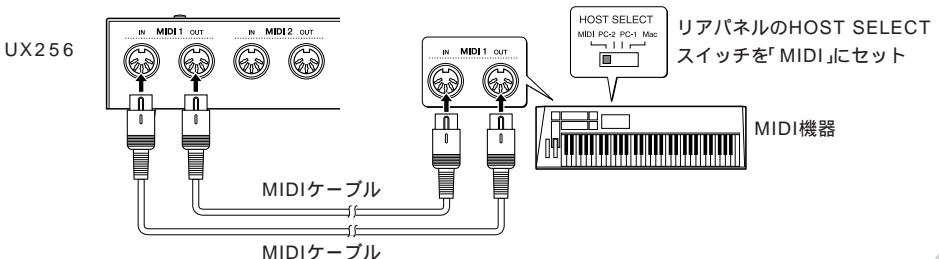
MIDI機器のTO HOST端子とUX256のTO TG端子を別売のシリアルケーブル(YAMAHA CCJ-MACなど)で接続します。このとき、MIDI機器のHOST SELECTスイッチは、お使いのコンピュータにかかわらず「PC-1」に設定します。

TO TG端子で接続すると、MIDI OUTが5ポート、MIDI INが1ポートのマルチポートとして音源をコントロールすることができます。



## (4) MIDI端子とMIDI機器との接続

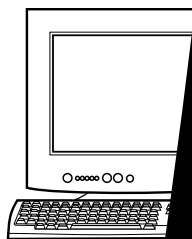
MIDI機器のMIDI IN端子とUX256のMIDI OUT端子を別売のMIDIケーブルで接続します。同様にMIDI機器のMIDI OUT端子とUX256のMIDI IN端子を接続します。このとき、MIDI機器のHOST SELECTスイッチは「MIDI」に設定します。



(5) USBハブとの

コンピュータのUSB端子に接続し、同時にコントロールすることができません。そのため、USBケーブルで接続

同時にコントロールすることができません。そのため、USBケーブルで接続



USBハブ

コンピュータのUSB端子が足りなくなった場合に、端子を増設するための機器です。USBハブをご利用になれば、使用できるUSB端子数が増え、UX256だけでなく、より多くのUSB対応機器を接続できるようになります。

# ドライバのインストール

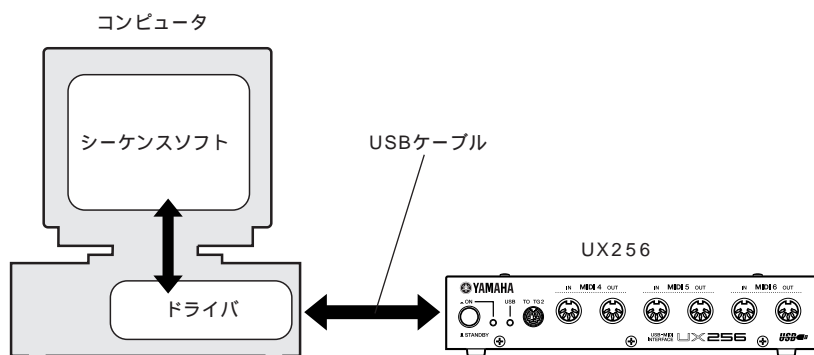
UX256を実際を使用するためには、コンピュータにドライバを正しくインストールする必要があります。

USB-MIDIドライバは、シーケンスソフトからUSBケーブルを通じて、UX256にMIDI信号を送信したり、逆にUX256からシーケンスソフトにMIDI信号を送信したりするためのソフトウェアです。

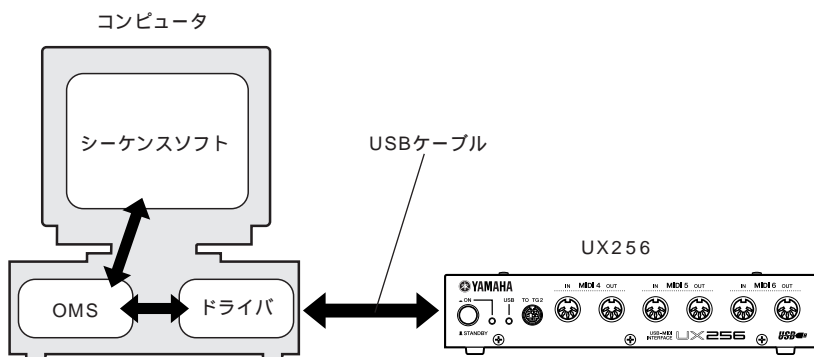
また、Macintoshをお使いの場合は、USB-MIDIドライバとは別に、OMS ( P.18 ) もインストールする必要があります。

Windows98をお使いの場合とMacintoshをお使いの場合では、インストール方法が異なります。Macintoshをお使いの場合は、P.18にお進みください。

## Windows98の場合



## Macintoshの場合



## Windows 98の場合

### インストールの手順

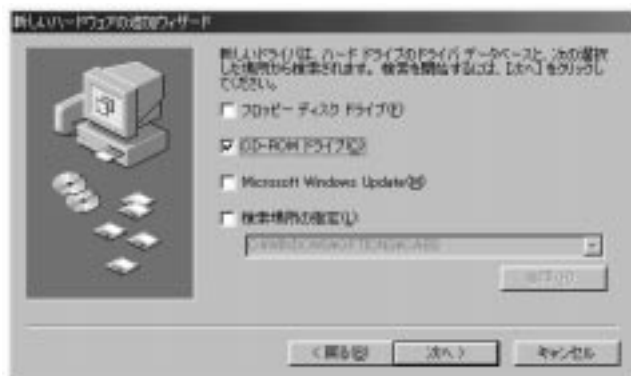
1. コンピュータを起動します。
2. UX256の電源がスタンバイ(オフ)の状態になっていることを確認して、付属のUSBケーブルで、コンピュータもしくはUSBハブのUSB端子と、UX256のUSB端子を接続します。
3. UX256の電源を投入します。  
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に表示されます。



4. [次へ]をクリックします。  
検索方法を選択する画面が表示されます。



- 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。  
ドライバのインストール元を選択する画面が表示されます。



- CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。  
CD-ROMが検出されるのを確認後、「CD-ROMドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。[次へ]をクリックします。

(NOTE) ドライバの検出中にWindows CDを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブのルートディレクトリ(D:\など)を指定してインストールを続行してください。

- CD-ROMの中のドライバを検出し、インストールの準備が終わると、次の画面が表示されます。  
「YAMAHA USB MIDI Driver」が表示されていることを確認後、[次へ]をクリックします。  
インストールが始まります。



8. インストールが終わると、次の画面が表示されます。  
[完了]をクリックします。

(NOTE) コンピュータによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。



これで、ドライバのインストールは完了しました。

### インストールの確認

以下の手順で、ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認することができます。

1. 「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
2. 「デバイスマネージャ」のタブをクリックすると、「YAMAHA USB MIDI Driver」の表示を確認することができます。





## MIDI信号出力先の設定

ここでは、Windows98に付属の「メディア プレーヤー」のようなアプリケーションでUX256を使うための設定を行います。お使いのシーケンスソフトでの設定については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。



1. 「コントロールパネル」中の「マルチメディア」をクリックして開きます。
2. 「MIDI」のタブをクリックすると、「YAMAHA USB OUT xx-yy」の表示を確認することができます。  
 (NOTE) xxはデバイス番号(P.26)、yyはポート番号(P.24)を表しています。UX256を1台のみ接続している場合、デバイス番号は0となります。
3. 「単一の機器」が選択されている状態で、接続している音源のポート番号に合わせてドライバを選択し、[OK]をクリックします。

## UX256を2台以上接続する場合

2台目以降のUX256を接続する場合は、以下の手順で接続します。ドライバを新たにインストールする必要はありません。

1. コンピュータを起動します。
2. UX256の電源がスタンバイ(オフ)の状態になっていることを確認して、付属のUSBケーブルで、コンピュータもしくはUSBハブのUSB端子と、UX256のUSB端子を接続します。
3. UX256の電源を投入します。

(NOTE) 2台以上のUX256を接続した場合のデバイス番号は、電源を入れた順に、0、1、2、3、...と割り振られます。同時に電源を入れた場合は、接続しているUSBハブのポート番号順になります。ただし、USBハブによってはこの順番が変わる場合があります。

## Macintoshの場合

ドライバをインストールする前に、OMSがインストールされている必要があります。また、ドライバインストール後に、OMSのセットアップ(P.20)が必要になります。

### (1) OMSのインストール

1. コンピュータを起動します。
2. CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
3. CD-ROMのアイコンをダブルクリックして開き、「OMS 2.3.3J」フォルダの中の「Install OMS 2.3.3J」のアイコンをダブルクリックします。

以下、画面の指示に従ってインストールしてください。OMSのインストールおよび使用方法の詳細については、付属のOMSマニュアル「OMS2.3J\_Manual.pdf」をご参照ください。

### (2) USBドライバのインストール

1. コンピュータを起動します。
2. CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
3. CD-ROMのアイコンをダブルクリックして開き、「Install USB Driver」のアイコンをダブルクリックします。  
インストール画面が起動します。



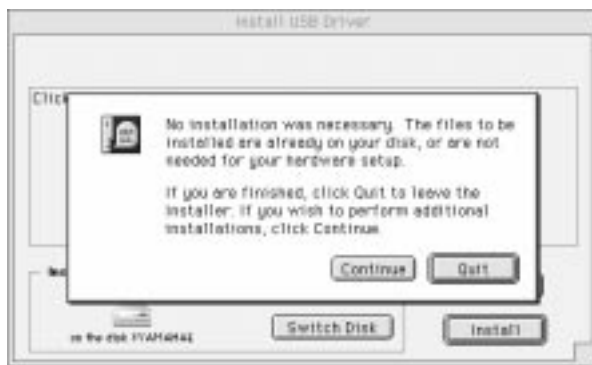
- 「Install Location (インストール場所)」というボックスに、インストール先が表示されます。インストールするディスクやフォルダを変えたい場合は、[Switch Disk] (ディスク切り替え) やプルダウンメニューを使い、インストール先を選択してください。

(NOTE) 通常は起動ディスクが自動的に表示されるので、インストール先を変更する必要はありません。

- [Install] (インストール) をクリックすると、「ソフトウェアインストール後、コンピュータを再起動する必要があります。"Continue" をクリックすると、すべてのアプリケーションが自動的に終了します。」という英語のメッセージが表示されます。[Continue] をクリックしてください。

(NOTE) インストールを中止したい場合は、[Cancel] をクリックしてください。

- インストールが開始されます。ドライバがすでにインストールされている場合、以下のようなメッセージが表示されます。手順3にもどる場合は[Continue] を、インストールを終了する場合は[Quit] (終了) をクリックします。



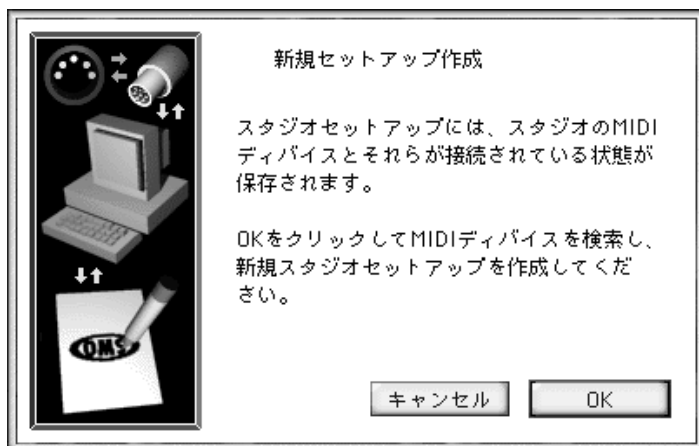
- インストールが終わると、「インストールは完了しました。コンピュータを再起動する必要があります。」という英語のメッセージが表示されますので、[Restart] (再起動) をクリックしてください。自動的にコンピュータが再起動します。

また、以下の場所にそれぞれのファイルがインストールされているのを確認することができます。

- ・「システムフォルダ」、「コントロールパネル」、「YAMAHA USB MIDI Patch」
- ・「システムフォルダ」、「機能拡張」、「USB YAMAHA MIDI Driver」
- ・「システムフォルダ」、「OMS Folder」、「YAMAHA USB MIDI OMS Driver」

### (3) OMSのセットアップ

1. コンピュータを起動します。
2. UX256の電源がスタンバイ(オフ)の状態になっていることを確認して、付属のUSBケーブルで、コンピュータもしくはUSBハブのUSB端子と、UX256のUSB端子を接続します。
3. UX256の電源を投入します。また、本体の赤色のPOWER LEDと緑色のUSB LEDが点灯していることを確認します。
4. ハードディスクにインストールされた「Opcode」フォルダの中の「OMSアプリケーション」フォルダを開き、「OMS Setup」アイコンをダブルクリックして起動します。
5. Apple Talkダイアログが表示される場合は、[オフにする]をクリックし、その後に表示されるダイアログで[OK]をクリックします。
6. 新規セットアップ作成ダイアログが表示されます。新規セットアップ作成ダイアログが表示されない場合は、「ファイル」メニューの「新規セットアップ」を選択してください。



7. [OK]をクリックします。OMSドライバ検索ダイアログが表示されますので、ModemおよびPrinterのチェックボックスをはずして、[検索]をクリックします。



8. 検索終了後、OMSドライバ設定ダイアログに「USB-MIDI 1」がリストアップされていることを確認して、[OK]をクリックします。

- (NOTE) ・UX256を正しく検出できなかった場合は、「USB-MIDI 1」が表示されません。ケーブルの接続などを見直し、もう一度最初から作業をやり直してください。
- ・iMacをお使いで正しく検出できなかった場合は、「iMacアップデート1.1」(P.8)の未インストールが原因である可能性もあります。
- ・UX256が複数接続されている場合は、接続台数分の「USB-MIDI x」が表示されます。



- OMS MIDIデバイス設定ダイアログに「USB-MIDI 1」がリストアップされていることと、Port番号が複数見えていることを確認します。Port 1からPort 16の左側のチェックボックスすべてにチェックマークを付けます。

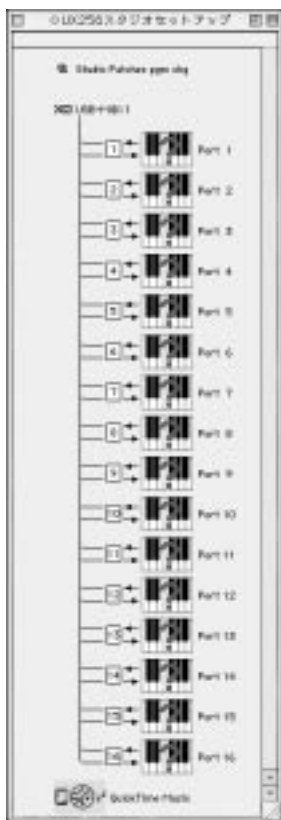


- すべてのチェックボックスにチェックを付けたら、[OK]をクリックします。
- 設定ファイルを保存するダイアログが表示されますので、ファイル名を入力して[保存]をクリックします。



12. ファイルの保存を終了すると、以下のウインドウが表示されます。ファイル名の先頭に「」マークが付いていれば、設定完了です。

また、ポートごとに名称およびアイコンを変更すると、以下のようにより見やすいセットアップにすることができます。詳しくは、付属の「OMS2.3J\_Manual.pdf」をご参照ください。



これでドライバのインストールおよびOMSのセットアップが完了しました。

### UX256を2台以上接続する場合

UX256を複数接続した状態で、OMSセットアップ(P.20)を行います。

# ドライバの設定変更(MIDIパッチ画面)

必要に応じて、コンピュータ側で選択するポート番号とUX256の入出力端子の関係を変更することができます。

シーケンスソフトなどのアプリケーションは、ドライバを通じてUX256とMIDI信号の送受信を行っています(P.13)。UX256は6系統のMIDI IN/OUT端子と2系統のTO TG端子を持っており、使用するUX256の入出力端子はコンピュータ側(シーケンスソフト上)で選択します。このとき、ドライバの設定を変更することにより、ケーブルをつなぎ変えることなく、これらの関係を変更することができます。

例えば、複数のポートに同じMIDI信号を送信したり、複数のポートから一つのポートへMIDI信号を重ねて送信したりすることができます。また、MIDI INからMIDI OUTへ直接MIDI信号を出力することもできます。

ポート番号と入出力端子の関係は、以下のようになっています。また初期設定では、これらのポート番号とコンピュータ側のポート番号が一致しています。

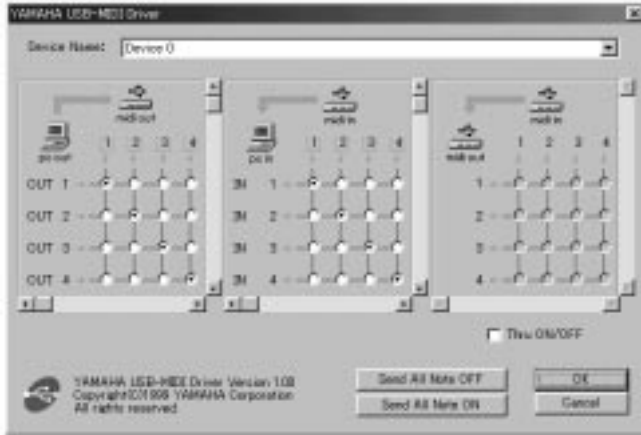
ポート番号	MIDI出力端子	MIDI入力端子
ポート1	MIDI OUT1	MIDI IN1
ポート2	MIDI OUT2	MIDI IN2
ポート3	MIDI OUT3	MIDI IN3
ポート4	MIDI OUT4	MIDI IN4
ポート5	MIDI OUT5	MIDI IN5
ポート6	MIDI OUT6	MIDI IN6
ポート7	TO TG1 -A	TO TG1
ポート8	TO TG1 -B	TO TG2
ポート9	TO TG1 -C	—
ポート10	TO TG1 -D	—
ポート11	TO TG1 -E	—
ポート12	TO TG2 -A	—
ポート13	TO TG2 -B	—
ポート14	TO TG2 -C	—
ポート15	TO TG2 -D	—
ポート16	TO TG2 -E	—

**(NOTE)** TO TG端子に接続したMIDI音源がマルチポートに対応していない場合は、B～Eポートを選択しても無効になります。



## MIDIパッチ画面の起動

起動方法および画面はWindows98とMacintoshで若干異なりますが、基本的なMIDIパッチ画面の操作方法は同じです。また、以下の操作説明ではWindows98の画面を使用しております。



### 【Windows98の場合】

1. 「マイコンピュータ」の中の「コントロールパネル」をダブルクリックして開きます。
2. 「MIDI-USB Driver」をダブルクリックして起動します。

### 【Macintoshの場合】

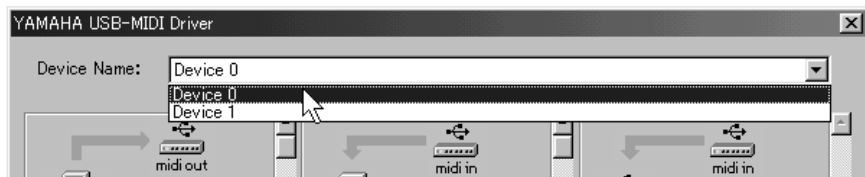
「アップルメニュー」から「コントロールパネル」の中の「YAMAHA USB MIDI Patch」を選択すると起動します。

## デバイス番号の変更

複数のUX256を接続している場合は、必要に応じてデバイス番号を変更できます。

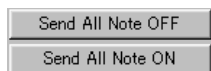
「Device Name」の表示をクリックすると、ドロップダウンリストが表示されるので、設定を変更したいデバイスを選択します。

(NOTE) Macintoshの場合は、「Device Name」として1台目から順に「USB1」、「USB2」、...と割り振られます。



## 信号送信の確認

MIDI機器が正しく接続されているかを確認するために、MIDI信号を送信することができます。



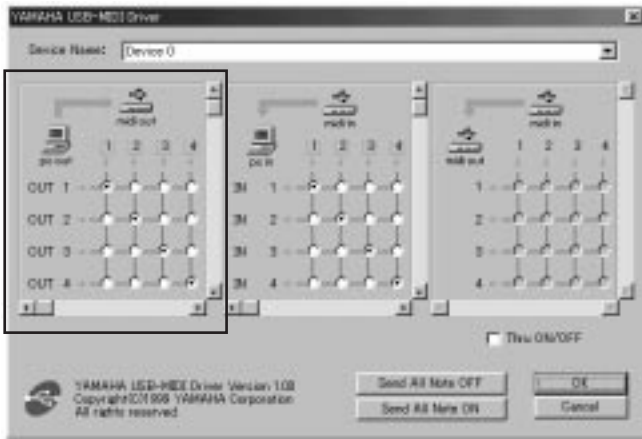
### ・ ノートオフメッセージ

[Send All Note OFF]をクリックすると、UX256のすべてのポートにオールノートオフのMIDI信号が送信されます。

### ・ ノートオンメッセージ

[Send All Note ON]をクリックすると、UX256のすべてのポートにノートオンのMIDI信号が送信されます。

再生時の接続の変更(PC OUT MIDI OUT)



コンピュータの出力ポートからUX256の出力ポートへの入出力関係を変更することができます。左のOUT1～16がコンピュータの出力ポートを、上の1～16がUX256の出力ポートを表しています。初期設定では、それぞれ同じ番号どうしが接続されていますが、チェックボックスにチェックを入れることにより、変更することができます。

縦方向に複数のチェックをつけた場合は、コンピュータの複数の出力ポートからのMIDI信号を重ねて(マージ)UX256の一つの出力ポートに送信します。横方向に複数のチェックをつけた場合は、コンピュータの一つの出力ポートからのMIDI信号を、UX256の複数の出力ポートに送信します。

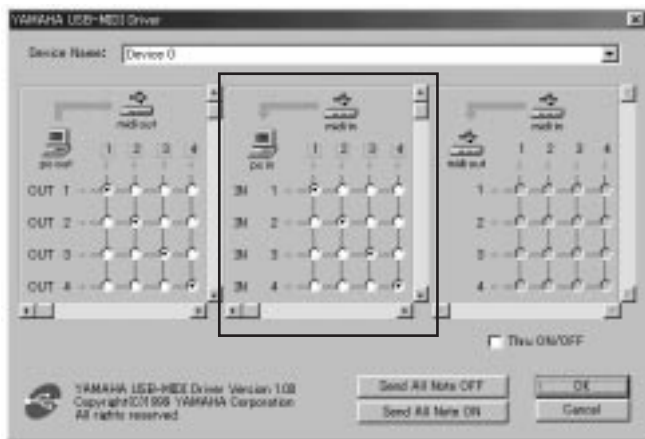
**(NOTE)** UX256の入出力端子とポート番号の関係については、P.24をご覧ください。

- ・コンピュータの出力ポート1、2、3からのMIDI信号を、UX256のMIDI OUT1に出力する場合

右図のようにチェックを変更し、[OK]をクリックして設定を有効にします。



録音時の接続の変更( MIDI IN PC IN )



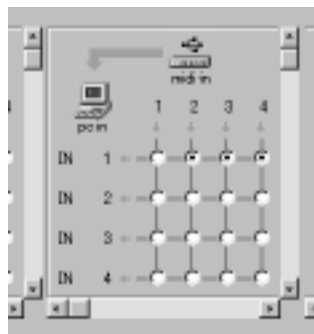
UX256の入力ポートからコンピュータの入力ポートへの入出力関係を変更することができます。左のIN1～8がコンピュータの入力ポートを、上の1～8がUX256の入力ポートを表しています。初期設定では、それぞれ同じ番号どうしが接続されていますが、チェックボックスにチェックを入れることにより、変更することができます。

縦方向に複数のチェックをつけた場合は、UX256の一つの入力ポートからのMIDI信号を、コンピュータの複数の入力ポートに送信します。横方向に複数のチェックをつけた場合は、UX256の複数の入力ポートからのMIDI信号を重ねて( マージ )、コンピュータの一つの入力ポートに送信します。

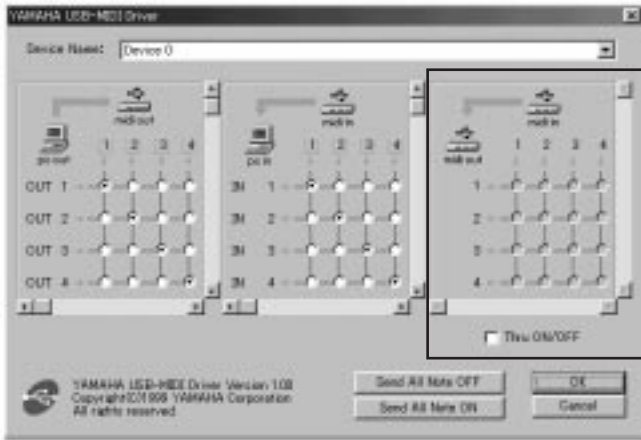
(NOTE) UX256の入出力端子とポート番号の関係については、P.24をご覧ください。

- UX256のMIDI IN2、3、4からのMIDI信号を、コンピュータの入力ポート1に入力する場合

右図のようにチェックを変更し、[OK]をクリックして設定を有効にします。



MIDI信号のスルー(MIDI IN MIDI OUT)



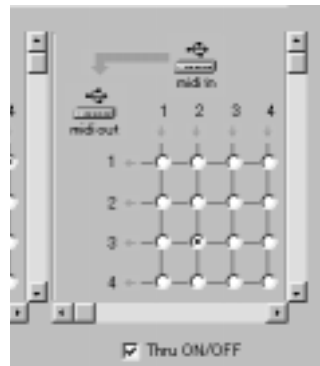
UX256の入力ポートで受信するMIDI信号を、UX256の出力ポートへ直接出力(スルー)することができます。MIDIキーボードなどからのMIDI信号を、直接音源に出力したい場合などに便利です。左のIN1～16がUX256の出力ポートを、上の1～8がUX256の入力ポートを表しています。またこの機能を有効にするには、画面右下の「Thru ON/OFF」にチェックを入れます。

縦方向に複数のチェックをつけた場合は、UX256の一つの入力ポートからのMIDI信号を、UX256の複数の出力ポートに送信します。横方向に複数のチェックをつけた場合は、UX256の複数の入力ポートからのMIDI信号を重ねて(マージ)UX256の一つの出力ポートに送信します。

- (NOTE) ・UX256の入出力端子とポート番号の関係については、P.24をご覧ください。  
 ・Macintoshの場合、MIDIパッチ画面またはシーケンスソフトなどのアプリケーションが起動している時のみ、このスルー機能が有効となります。

- ・MIDI IN2へのMIDI信号をMIDI OUT3へスルーする場合

画面右下の「Thru ON/OFF」にチェックを入れます。右図のようにチェックを入れ、[OK]をクリックして設定を有効にします。



# 故障かな？と思ったら(Q&A)

## ドライバがインストールできない

- ・ USBケーブルは正しく接続されていますか？  
USBケーブルの接続を確認してください(P.11、12)。一度USBケーブルを抜いて、再度挿入してください。
- ・【Windows98の場合】お使いのコンピュータ側でUSBが使用可能になっていますか？  
初めてUX256をコンピュータに接続した際、「新しいハードウェアの追加ウィザード」(P.14)が自動的に表示されないときは、コンピュータ側でUSBを使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。
  1. 「コントロールパネル」中の「システム」をダブルクリックして開きます。
  2. 「デバイスマネージャ」のタブをクリックして、「ユニバーサル シリアルバスコントローラ」や、その下にある「USB ルート ハブ」などに「！」や「×」のマークがついていないことを確認してください。  
「USB ルート ハブ」などに「！」や「×」のマークがついている場合は、USBが使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。
- ・【Windows98の場合】不明なデバイスが登録されていませんか？  
何らかの原因によりドライバのインストールに失敗すると、UX256が「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。
  1. 「コントロールパネル」中の「システム」をダブルクリックして開きます。
  2. 「デバイスマネージャ」のタブをクリックして、「種類別に表示」にチェックが入った状態で、「その他のデバイス」がないか確認します。
  3. 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して[削除]ボタンをクリックします。
  4. USBケーブルをUX256から抜いて、接続し直します。  
(NOTE) このとき、UX256の電源は切っておいてください。
  5. 以下、P.14の手順3以降に従って、ドライバをインストールし直します。

## UX256が正常に動作しない、または音が鳴らない

- ・ドライバはインストールしましたが(P.13)？
- ・USBケーブル、MIDIケーブル、シリアルケーブル、オーディオケーブルは正しく接続されていますか(P.11)？
- ・音源、再生装置、アプリケーションの音量設定は上がっていますか？
- ・音源のHOST SELECTスイッチは正しく設定されていますか？  
MIDI IN/OUT端子と接続している場合は「MIDI」に、TO TG端子と接続している場合は、「PC-1」に設定してください。
- ・ご使用のシーケンスソフトで適切なポートを選択していますか？
- ・ドライバは最新のものをインストールしましたか？  
巻末に記載されているヤマハホームページやニフティサーブから最新のドライバをダウンロードできます。

## 演奏がもたつく

- ・ お使いのコンピュータは推奨環境を満たしていますか( P.8 )?
- ・ 他のアプリケーションやデバイスドライバは動作していませんか?
- ・ 【Macintoshの場合】  
   仮想メモリを「切」にしてください。  
   AppleTalkを「不使用」にしてください。

## 正常にサスペンド、レジュームができない

- ・ MIDIアプリケーションが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか?

## ドライバの削除、再インストールがしたい

- ・ 【Windows98の場合】
  1. UX256が正しく認識されている状態で、「コントロールパネル」中の「システム」をダブルクリックして開きます。
  2. 「デバイスマネージャー」のタブをクリックし、「YAMAHA USB MIDI Driver」を選択し、削除します。
  3. MS-DOSプロンプトまたはエクスプローラを操作して、以下の3つのファイルを削除します。  
   (NOTE) ただし、エクスプローラを操作して削除する場合は、エクスプローラのファイルメニューから「表示」「フォルダオプション」を選択して、「すべてのファイルを表示する」に設定しておいてください。
    - ・ ¥WINDOWS¥INF¥OTHER¥YAMAHAYMIDUSB.INF
    - ・ ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Xgusb.drv
    - ・ ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Ymidusb.sys
  4. UX256の電源をオフにして、USBケーブルを抜きます。
  5. コンピュータを再起動します。
  6. P.14のドライバのインストールにしたがって、再インストールします。
- ・ 【Macintoshの場合】
  1. 以下の場所にインストールされているファイルをそれぞれ削除します。
    - ・ 「システムフォルダ」 「コントロールパネル」 「YAMAHA USB MIDI Patch」
    - ・ 「システムフォルダ」 「機能拡張」 「USB YAMAHA MIDI Driver」
    - ・ 「システムフォルダ」 「OMS Folder」 「YAMAHA USB MIDI OMS Driver」
  2. コンピュータを再起動します。
  3. ドライバのインストール( P.18 )およびOMSのセットアップ( P.20 )をもう一度行います。

## MIDI対応のゲームでUX256を使いたい

- ・ 【Windows98の場合】
  1. 「コントロールパネル」中の「マルチメディア」をダブルクリックして開きます
  2. 「MIDI」のタブをクリックして、接続している音源のポート番号に合わせてドライバを選択してください( P.17 )

## WindowsNTで使いたい

- ・ WindowsNT3.x、4.0はいずれもUSBはサポートされていません。

# ユーザーサポートのご案内

## 質問の受付について

ヤマハデジタル商品は、常に新技術/高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような商品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究/改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル商品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験を必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に説明いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順どおりに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではCBXインフォメーションセンターを開設いたしております。

お気軽にご利用いただきますようご案内申し上げます。

お問い合わせの際には、「製品名」、「製造番号」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」をお知らせください。

また、「接続機器(ご使用のパソコンの種類など)」、「操作の手順やそれによる結果と状態」、「入力されたデータの内容」なども詳しくお知らせください。お客様からの情報が不足している場合はご返事できない場合があります。

### ヤマハCBXインフォメーションセンター

TEL : 053-460-1667

受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間 10:00～12:00/13:00～17:00

## 有償サポートサービスについて

### 1. 有償サポートサービスの内容

お客様が使用中に「UX256」のCD-ROMを破損された場合、有償でCD-ROMの内容を購入時と同等に修復交換またはフロッピーによる修復いたします。必要事項をご記入の上、手数料(¥3,000:消費税込み)と破損したCD-ROMを添え「有償サポートサービスのお申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

\* 有償サポートサービスの受付期間は、お客様が本製品をご購入後、一年以内とさせていただきます。

\* お申し込みになる前に、必ずCBXインフォメーションセンターまでお電話でご連絡ください。



## 2. 有償サポートサービスのお申し込み方法

CBXインフォメーションセンター宛に直接お申し込みください。

このサービスは、お買い上げの販売店では、受け付けておりません。

1. 下記の有償サポートサービスの「破損CD-ROM修復申込書」に必要事項をみれなくご記入の上、手数料とともに、CBXインフォメーションセンターまで現金書留にてお送りください。

\* お客様からのCBXインフォメーションセンターへの送料は、お客様にてご負担ください。

2. CD-ROMを送付される場合は、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」を明記して、CBXインフォメーションセンターまで、郵便書留にてお送りください。なお、郵送の途中でCD-ROMが破損しないように、十分注意して包装してください。

\* 普通郵便などでお送りになられた際の事故につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

\* お申し込みいただきましたCD-ROM(または修復データを収録したフロッピー)は、手数料の確認の後、発送いたします。お申し込み後、2週間過ぎても製品が届かない場合は、CBXインフォメーションセンターまでご連絡ください。

### 破損CD-ROMの修復申し込み

有償サポートサービスの「破損CD-ROMの修復」の申し込みをされる場合は、下の申込書をコピーしてご使用ください。

「UX256」

破損CD-ROM修復申込書

ご住所：

お名前：

電話番号：

e-mailアドレス：

破損ディスク「UX256」CD-ROM

\*破損CD-ROMの修復の手数料は¥3,000(消費税込み)です。

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

## 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

## 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

## 消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

## 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

## 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL(011)512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL(022)236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL(044)434-3100
浜松サービスセンター	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL(06)6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL(087)822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL(082)874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL(092)472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL(053)465-1158

## デジタル楽器に関するお問い合わせ窓口

EM北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL(011)512-6113
EM仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL(022)22-6147
EM東京事業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL(03)5488-5476
EM関東営業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL(03)5488-5447
EM名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL(052)201-5199
EM大阪事業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋ブラザビル東館	TEL(06)6252-5231
EM広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル	TEL(082)244-3749
EM九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL(092)472-2130
電子楽器事業部 営業部	〒430-8650	浜松市中沢町10-1	TEL(053)460-2432

ホームページ	<a href="http://www.yamaha.co.jp/">http://www.yamaha.co.jp/</a>		
ニフティサーブ	「GO FMIDIVA」コマンドでFMIDIVAに入ると、ヤマハデジタル楽器およびDTM製品のフォーラムがご覧いただけます。		
電子会議	#16	ヤマハSynth & CBX情報ボード	
	#17	ヤマハSynth & CBXユーザーズカフェ	
	#18	ヤマハSynth & CBX相談室	
データライブラリー	#8	ヤマハ/デジタルCBX	

所在地・電話番号などは変更されることがあります。

# ヤマハ株式会社